

専修大学体育会バスケットボール (男子)

部

同好会

正式大会名 第56回関東大学バスケットボール選手権大会

5月31日 (木)

会場：国立代々木競技場第2体育館

天候：晴れ

【6回戦】 ※ 対戦相手と結果を先に記入

【寸評】

専修大学 67 $\left(\begin{array}{l} 16-22 \\ 8-24 \\ 24-17 \\ 19-19 \end{array} \right)$ 82 拓殖大学

1Q <16-22>

出だし2分で拓殖#21に6点を許してしまう。他にも#38のアウトサイドや#42のドライブに苦しむ。専修は、#3200のドライブやジャンプショットで対抗するも追いつけない。#5500の3Pは0/4と不調。#2000に代わった#1000がインサイドでがんばり16-22。

【メンバー】

出場	番号	名前	(学部・学年)	T	P	F
C	21	〇〇〇〇	(E4)			
	〇	14	〇〇〇〇 (E2)	5	0	0
	⊗	37	〇〇〇〇 (CM2)	22	2	1
	〇	5	〇〇〇〇 (E1)	11	0	1
	⊗	32	〇〇〇〇 (E4)	35	13	3
		34	〇〇〇〇 (C4)			
		22	〇〇〇〇 (C3)			
	〇	11	〇〇〇〇 (E2)	17	13	0
	〇	7	〇〇〇〇 (C4)	6	2	2
	⊗	55	〇〇〇〇 (E4)	21	2	1
	〇	15	〇〇〇〇 (C3)	4	0	2
	〇	9	〇〇〇〇 (E4)	16	8	2
	〇	10	〇〇〇〇 (W3)	11	6	1
	⊗	28	〇〇〇〇 (E3)	40	14	1
	⊗	20	〇〇〇〇 (M1)	13	7	0

2Q <24-46>

拓殖#38が爆発する。マッチアップしていた#5500はその勢いを止められず、15得点を挙げられてしまう。一方専修は、オフenseのターンオーバーが目立ち、得点源も#28〇〇だけになってしまい、8-24で終える。

3Q <48-63>

#2800がゴール下で健闘。リバウンドに果敢に挑み4ゴール沈める。途中出場の#1100も3連続ジャンプショットを決め差を縮め、24-17。

4Q <67-82>

#900がシュート、ブロックで貢献し、#1100も引き続きアウトサイドで頑張る。しかし、それを打ち消す様に拓殖#21に次々と加点され、67-82で試合終了。

拓殖#21に30点、#38に23点を許してしまい、ディフェンスの問題が浮彫りになったGAMEであった。

【最終結果】

専修大学 ベスト16

- 1位：大東文化大学
- 2位：早稲田大学
- 3位：関東学院大学
- 4位：日本大学
- 5位：中央大学
- 6位：法政大学
- 7位：日本体育大学
- 8位：拓殖大学

※最終戦の結果届で報告する成績

- ・トーナメント → 8位まで
- ・リーグ戦 → 該当リーグの全チーム
- ・順位が得失点差等で決まった場合にはそれも記入する。

大会成績等により、上位大会への出場権等を獲得した場合には、出場する大会の「正式大会名」を記入し提出する。

※個人賞(受賞)があれば記入する